

平成 27 年度 第 1 回 生坂村情報モニター会議について

日 時 平成 27 年 10 月 22 日 (木) 午前 10 時 00 分

場 所 生坂村役場 会議室

出席者 情報モニター 4 名
村長、総務課長、説明者 3 名

内 容

本年度の担当者の紹介及び各情報メディアの取り組み状況について説明。また、I C N の動画放映で発生した動作不良についても、経過説明を行う。

委員の方から、ご意見を伺う。

協議事項

各情報メディアについて、情報モニター委員に意見を求める。

(本会議により提出されたご意見等 (「意」・・・意見、「答」・・・回答))

(1) 広報誌について

意) 使用している用紙が光沢紙で照明の反射で見難い。

答) 光沢紙でないと写真が綺麗に映らないという理由であるが印刷業者に相談して研究していきたい。

意) 生坂村の今と昔の状況や写真等を各地域ごとに掲載したり、自分の住んでいる地域を知る意味でも各地区ごとに歴史や文化財などをシリーズ化して掲載してみてもどうか。

意) 広報誌と別に毎月チラシが多く配布されて来るので一まとめにならないか。

答) 毎月の日程や予定が分っているものについては広報誌に掲載していくことは可能である。広報誌の編集締切りに間に合わないものについては、チラシとして配布させていただいている。できる限り毎月決まっているようなお知らせについては広報誌に掲載していくように取り組んでいく。

意) 内容が大人向けとなっているので子供たちにも関心を持って見てもらうために手書きの文字や絵などを一部 (小・中学生の部) の記事に取り入れてはどうか。活字だけのものよりも子どもたちに興味をもってもらえるのでは。手書きの文字を取り込める技術は機械的にも可能であると思う。

答) 小・中学校だよりなどを対象に検討する。

意) 掲載写真すべて四角いので、丸だとかいろんな形だともっと若い子たちが見るのでは。

答) 検討する。

(2) ICN について

意) 情報が沢山あるときは自分が知りたい情報が見れるまで時間がかかってしまうことがネックである。番組表のようになって見たい情報だけタップすれば見れるようにできないか。

答) 村のホームページ上にある「ICN 生坂村コミュニケーションネットワーク」では見たい情報をクリックすれば見れるが、テレビでは無理である。

答) 今後は、住民の皆さんが楽しみで見られるように動画の放送を多く流す取り組みを行ってきたい。また、住民の方が撮ったビデオなども機械上でのメモリー変換作業が必要にはなるが放送して紹介していけたらと思う。

意) 動画や写真の放送を多くしていくと、今度はお知らせなどの情報を見るのに時間がかかってしまう問題も予想される。時間割など工夫が必要であると思う。ICN のチャンネルは1つのチャンネルのみなのか。

答) 村の ICN は1チャンネルのみとなっている。

(3) 同報無線について

意) アナウンスの仕方で「〇〇課から」と「〇〇課より」と言う場合があるが発信や起点を表す場合は「から」に統一した方が良いと思う。

答) 今後「から」に統一する。

意) 停電時に放送（停電のお知らせ）をしてほしいと常会から意見が出た。村内でも区又は常会ごとに停電の状況が違う場合がある。中部電力に問い合わせで状況や復帰時間などの情報を知らせてほしい。

答) 役場で停電の情報が掴めた段階で随時放送をするようにしている。しかし、中部電力からの連絡がこないケースも何度かあったため、停電が発生した場合には直ちに役場に連絡をしていただくよう中部電力と申し合わせを行った。

意) 水道の断水がかなり長時間続いたことがあった。いつ復旧になるかなどの放送をながしてほしい。

答) 復旧作業中の放送は困難であるが、断水時と復旧時には放送することになっている。

意) 熊の出没や目撃に関する放送が大変早く、学校から親に届くメールよりも早く情報を知ることができてありがたかった。今後もお願いしたい。

答) 熊の情報については迅速に放送するようにしている。

意) Jアラート自動起動装置の仕組みと、発信時に聞き取りにくかった事例の音量設定等の対策状況、また、村から発信される緊急速報について聞きたい。

答) Jアラートについては国からの緊急的な情報が村の同報無線とリンクされており瞬時に流れる仕組みとなっている。同報無線とリンクがされた当初は設定の問題で聞き取りにくいといった事例があったが、現在では改善されてきている。

意) 同報無線の放送時に、雑音が入る問題は機械の老朽化によるものなのか。

答) 機械の問題よりも電波による影響が大きく、地形や電磁波等が周りに出ているような場所は電波に障害が出やすくなってしまっている。現在のアナログからデジタルに移行させる場合は音声については改善されると思うが波形の問題で中継局を5箇所程設けなくてはならず建設費用がかかってしまう。

意) 大雨洪水警報などの発令に関して役場の中では基準化がされているのか。

答) 昨年、地域の防災計画が整備されて職員マニュアルができています。避難勧告に関しても状況により発令する判断が難しい場面がある。役場には県からも多くの情報が送られてくるので随時住民の皆さんにお知らせをしていく。

(4) ホームページについて

意) ふるさと納税に関する情報が必要ではないか。他市町村では納税に対する返礼などの情報をネットで知らせ、制度の推進に利用している。検討されてはどうか。

答) ふるさと納税についてはすでにホームページに掲載されている。返礼品のカタログが今年7月にできたのでホームページで見られるようになっている。

意) ホームページを見ても「ふるさと納税」でなく「みんなのふるさと いくさか応援寄付のご案内」となっていてわかりにくい。一般的にふるさと納税と言ったほうが認識されているのでバナーを変更するなどして分かり易くしてみてもは。

答) バナーの見出しを「ふるさと納税」に変える方向で検討する。

意) 公共施設の施設案内に、スカイスポーツ公園、村民会館、高津屋森林公園の3つが掲載されているが体育館、グラウンドやマレット場、若コミなど他の施設も記載してはどうか。貸し出しできれば貸し出し可能関連施設一覧表示で。

答) 検討させていただく。

意) 空き家バンクの内容が以前から全く変わっていない。同じ物件を掲載し続ける中でも写真や見方など工夫してみてもどうか。

答) 価格を提示された物件については価格を出すようにした。

意) 間取りや、比較的良い写真だけでなく現状の状態などの写真も必要ではないか。空き家自体かなりの件数があると思うが情報が少ないため空き家を探している人に紹介できない。持ち主の諸事情もあるかとは思いますが紹介できる物件はどんどん紹介してほしい。

答) 空き家の持ち主にアンケートを取る等して充実させていきたい。

今回の意見を参考に、各事業の改善や検討を行うこととする。